

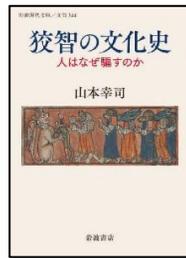


9・10月新着本案内

2022年9・10月号
瀬木学園図書館



『デジタル依存症の罠』香山リカ著
四六時中目にするネット記事、いつでもつながるSNS、仕事や勉強もオンラインに…人との繋がりが変わった今、それがどう心に作用しているのかを検証します。(007.3/カ)



『狡智の文化史』山本幸司著
嘘・偽り・詐欺・謀略…秩序や倫理があってもいつの時代も存在する「狡智」という知恵。古今東西の史書や民話、神話を題材に狡智と人間の本性に迫ります。(141.6/ヤ)



●『大切な人を亡くした人の気持ちがわかる本』高橋聡美著
今、注目されてきているグリーフケア(死別で悲しみや喪失感を抱く人を支えること)を学ぶ本です。(146.8/Ta33)



『危機・格差・多様性の世界地図』ダン・スミス著
世界が直面する様々な問題をSDGsのテーマに沿って解説しています。各テーマのデータは国別に比較できます。(350.9/ス)



『わたしは13歳、シリア難民。』国境なき子どもたち編著
シリア紛争が始まって7年。難民キャンプで出会った子どもたちを通して、戦争・難民・平和を考えます。(369.38/コ)



●『ケースで学ぶ不登校』長尾博著
不登校に関する臨床心理学の研究を俯瞰し特徴別に10のケースを解説しています。スクールカウンセラーの不登校フォーミュレーションも提案しています。(371.42/N17)



『コロナ禍の学校で「何が起り、どう変わったのか」』細田真由美編
コロナ禍の学校現場のリアルを記録し、教育現場の在りようを探ります。コロナは、学校教育にどのような影響を与えたのか?(372.1/ホ)



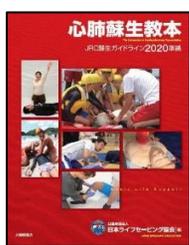
『小児保健衛生』山本智子著
保育・教育の場で必須となる基礎知識が解説されたテキストです。感染症への対応や、医療的ケア児への保育など、多様な保育現場の課題も載っています。(376.14/ヤ)



●『大学生になるってどういうこと?』鈴木学, 植上一希, 藤野真著
大学で「学ぶ」とは何か?具体的に役立つ学習スキルや有意義な学生生活のための知識を詰め込んだ本です。(377.9/Su96)



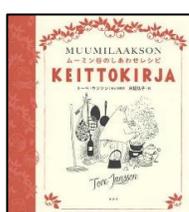
『昔の道具で郷土ごはん』農文協編
電気やガスが整備されていなかった時代、食事はどうやって作っていたのでしょうか。昭和初期の農家の生活を中心に、道具を比較し作り方を紹介しています。(383.93/ノ)



『心肺蘇生教本』日本ライフセービング協会編
急病や事故などが起こった時に、現場にいる人間ができることは!?AEDを含めた心肺蘇生法の理論とその手技を学べます。オールカラーで分かりやすいです。(492.29/ニ)



『つくってみよう加工食品 第8版』仲尾玲子, 中川裕子著
加工食品を作る基礎知識だけでなく、その知恵や原材料の性質や特徴、加工原理も知ることができます。(588/ナ)



『ムーミン谷のしあわせレシピ』トーベ・ヤンソン絵と引用文/末延弘子訳
ムーミンのお話に出てくる北欧料理を、名言と美しい挿絵で紹介しているレシピ本です。様々なキャラクターが登場します。(596.23/ヤ)

☆いろいろな絵本が入りました☆

『川まつりの夜』岩城範枝作/出久根育絵(726.6/イワ)

『なかよしの犬はどこ?』エリ・サットン作・絵(726.6/サツ)

『戦争をやめた人たち』鈴木まもる文・絵(726.6/スズ)

『ねこいる!』たなかひかる作(726.6/タナ)

『ぼく』谷川俊太郎作/合田里美絵(726.6/タニ)



●『パラスポーツとボランティア』兵藤智佳, 花岡伸和編著
パラアスリートを支援する活動を通して大学生たちは何を感じ、考えたのか。「他者とどう生きるか」を問います。(780.13/H99)



などなど…
他にもたくさんあります。

書名の前に●がついている本は分館に置いています。(●がない本は本館に置いています。)